

3年生を対象に発行しています

京都市立九条中学校

進路だより



No.13

2020.11.30

～ほんとうの競争相手？それは自分自身～

令和3年3月中学校及び特別支援学校中学部

# 卒業予定者の進路希望状況

## が発表される！

令和3年3月に府内国・公・私立中学校及び特別支援学校中学部等を卒業する予定の生徒の京都府公立高等学校への進学志望状況が、27日に発表されました。3年生のみなさんには、調査の結果をまとめた資料を配布します。この調査は、11月10日現在において、第1希望とする高等学校・学科等について調査したものです。とても、大事な資料ですので、しっかりと目を通してください。また、保護者の方にも必ず見てもらってください。

ところで、倍率の意味を理解できているでしょうか？資料を見ていると、前期選抜の倍率が7倍を超える学校もあります。100人の定員のところに、志願者が100人なら1.0倍、110人なら1.1倍、200人なら2.0倍、これが倍率です。中には、定員に満たない（1倍未満）選抜方式の学校もありますが、これからまだ希望を変更する人もいるだろうし、現在は私立高校を第1希望としているけれど、残念ながら不合格の場合には公立高校を希望する人もいるでしょう。また、前期選抜で定員の100%の学科を受検したけれど、不合格だったので、中期選抜では普通科を受検する人や第2順位で希望している人がいることも考えておかなければいけません。そしてなにより、どれだけの実力や報告書の成績がある生徒が希望しているかまでは、この資料からは読み取れません。

資料の倍率を見て、「自分が希望する学校は希望者が多いし、心配だな…」「希望者が少ないし、この学校に変更しようかな…」と気持ちが揺れ動く人がいるかもしれません、この資料は府内全域の中学生が見ている資料ですので、同じような事を考える人もいるだろうし、無意味なことでしかありません。

11月の進路希望は、10月の懇談で保護者の方、担任の先生と相談して決めた希望先です。今回の情報だけをもとに、一時の感情だけで進路先を変更することはやめておきましょう。数字に惑わされることなく、自分の選択に自信をもって、合格にむけて努力を積み重ねていくことが大切です。ただし、前期選抜は公立



高校を志願している生徒のほとんどが志願しています。普通科の場合、前期選抜は定員の30%（京都市・乙訓地域）しか募集されません。したがって、普通科の場合、前期選抜で合格するのは、とても難関だということは知っておいてくださいね。



## 12月進路予定



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
				・進路希望 変更届締切 ・自己PR票作成		
7	8	9	10	11	12	13
				・私立Web出願の説明 出願情報登録練習用紙の記入 ・私立願書の書き方練習		
14	15	16	17	18	19	20
面接練習①	三者懇談①	三者懇談②	三者懇談③	三者懇談④ 面接練習②		
	【私立高校を受験する場合】進路希望確認届を提出した生徒から願書の下書き（従来通りの出願の高校）・出願情報登録練習用紙（Web出願の高校）の記入					
21	22	23	24	25	26	27
確認届締切 【Web出願の私立高校を受験する場合】 この日から各高校の出願サイトへ出願情報の入力が可能	「面接ガイド・18の質問」提出締切	終業式	冬季休業 （～1月4日）			
28	29	30	31			
学校閉鎖日	学校閉鎖日	学校閉鎖日	学校閉鎖日			

## 知っていますか？



過去の入試問題は、各高校ごとに書店などで販売されていますが、オープンキャンパスや学校説明会に参加すると配布してくださる学校、京都翔英高校や龍谷大学付属平安高校などのようにホームページに掲載されている学校もあります。また、京都府公立高校入試の学力検査問題（前期選抜は共通問題のみ）も京都府教育委員会のホームページに掲載されています。そして、この時期に実施される各高校の説明会は、学校の説明ではなく、入試の説明や入試対策講座になっています。合格に直接結びつくような情報もきっと提供してくださると思います。自分の希望する高校の説明会は必ず参加するようにしましょう。